

「国内希少野生動植物種の指定の提案書」作成のポイント（実践編）

国内希少野生動植物種の選定に関する提案書

絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律第4条第3項に基づく国内希少野生種の指定について、次のとおり提案します。

平成 年 月 日

・環境省が指定する提案書の書式に、提案書作成のポイントをまとめています
必ず下記のサイトからダウンロードして提出しましょう

<http://www.env.go.jp/nature/yasei/hozonho/teian201409/form.doc>

(団体の場合は団体名、部署名、担当者名)

郵便番号・住所：

電話番号：

環境省希少種保全推進室長 殿

指定を提案する種名及び学名	
提案の理由	<p>・ポイント①～⑤を参照の上、①と②については必ず記述し、③～⑤についても可能な限り具体的に記述しましょう</p>
当該種の分布及び生息の状況	<p>・全国の分布情報は、下記の既存文献を引用できます。 環境省のレッドデータブック http://www.biodic.go.jp/rdb/rdb_do.html http://www.jpnrdb.com/index.html 都道府県のレッドデータブック http://www.biodic.go.jp/rdb/pref/rdb_list.html 世界レベルのレッドデータブック (IUCN) http://www.iucnredlist.org/amazing-species</p>
当該種の減少要因	<p>・ご存じの分布情報を別添の地図などを添付し、分布地の土地所有なども記述すると、国が指定を検討しやすくなります。</p> <p>・減少原因は、環境省や都道府県のレッドデータブックに記述されているので、それを引用できます。さらに、追加でご存じの情報（特に現場で観察した事例・報告書・論文など）があったら必ず記述し、資料があれば添付しましょう。</p>
当該種の保全取組の現状及び今後の予定	<p>・ポイント3を参照して、既存の保全活動（1年に〇回観察・見回りに行く等）、調査活動や、今後の予定を記述し、具体的な活動を示す資料（会報や報告書・論文など）があれば添付しましょう。</p> <p>・土地所有者と合意又は連携した活動実績があれば必ず記入しましょう</p> <p>・指定によって保全活動が推進される可能性があれば必ず言及しましょう</p>
希少野生動植物種保存基本方針との合致	<p>第2. 1. (1) _____に該当</p> <p>・該当する項目を必ず記入しましょう</p>
その他	<p>・商業的な流通状況（園芸栽培や飼育実績や流通状況）</p> <p>・生育・生息地がすでに保護区に指定されていたり、国有地の場合は、指定される可能性が高まるため、その点も必ず記入しましょう。</p>